

# 平成26年度「森は海の恋人運動」 国道周辺緑化事業植樹祭

公益社団法人北海道森と緑の会が提唱する「ふるさとにみどりをよみがえらそう運動」及び新ひだか町が提唱する「森は海の恋人運動事業」として、「国道周辺緑化事業植樹祭」が5月28日（水）、新ひだか町静内真歌の左岸運動公園付近で開催され、参加してきました。



「緑を守り育てる意識の高揚」を図ることを目的として開催された植樹祭には、町民約120人が参加し、0.2haにクロマツ600本、エゾヤマツツジ50本、クリ20本、ニトリザクラ20本、合計690本を30分程で植えました。

当日は額から汗が流れるほど日差しが強く、急傾斜で慣れないクワを使用した穴掘り作業はとても大変で、

休憩を取りながら大きく育つよう丁寧に愛情を込めて植えてきました。

植樹祭をとおして、土壌が整備されている花壇や畑とは違い、自然の土壌は堅く石礫や木の根があり穴掘りがとても重労働で、緑を守り育てることの大変さを感じました。また、地域の方々と連携・協働して森林づくりを行っていくことの重要性を痛感しました。

昨年の植樹によるものか定かではありませんが、国道から眺める海が昨年よりも綺麗になったような気がし、今回は参加できなかった他の職員と一緒に、今後もこのような緑化活動に積極的に携わり、この豊かな緑や海を子供や孫へと残していきたいと思いました。

